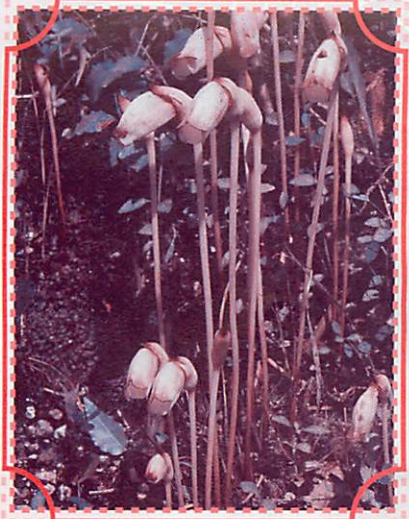
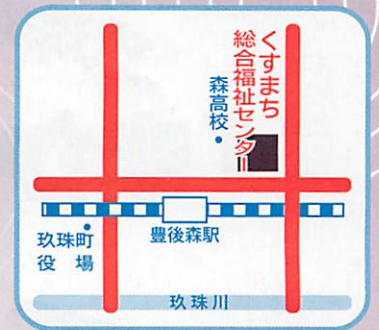


# ゆるへん



(撮影：永井時雄氏)

発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816  
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

シリーズ東日本大震災③

## 現地を訪れて(1)



時の流れは早いもので、大震災が発生してから早くも6ヶ月が経ちました。この間、私たちは新聞やテレビを通じて被災地の状況を見聞きしているわけですが、最近は一時期に比べて震災報道も少なくなりました。しかし報道量が減ったからと言って、決して落着いてきたわけではないことを忘れてはいけません。

今回、玖珠町社協では福島県いわき市の「いわき市災害救援センター」に職員1名を派遣し、センターの運営支援のお手伝いをしてきました。このセンターではボランティアで訪れる方々に対し安心して活動をして頂けるように、受付から保険の加入、被災者の依頼による派遣、その他、相談事について総合的に対応しています。

福島県は地震や津波の被害に加え、原発の被災に伴う放射能汚染で甚大な被害を受けています。そのためか他の被災県に比べてボランティア活動者数は少なくなっています。

しかしながら、多くの一般の方々が使命感・義務感を持ち、災害救援延びては復興支援のために活動をしています。特に印象的だったのは老若男女の別なく、多岐に亘る分野の方が活動をされていると言うことでした。

高齢の方は過去の情景に思いを馳せ、若い方は未来に夢を描き活動をされていたのが印象的でした。

(次回に続く)

# 玖珠町ファミリーサポートセンター 「まかせて会員」養成講座

## 受講生募集!

玖珠町ファミリーサポートセンターは“子育ての手助けをしてほしい方”『よろしく会員』と“子育てのお手伝いをしたい方”『まかせて会員』の相互援助活動を行う会員組織です。子育てに興味のある方、お手伝いしたいなぁと思っている方、地域の子育て支援にお力をお貸し下さい。空いている時間に「まかせて会員」として活動してみませんか?たくさんのご応募お待ちしております。



### ◎ 開催日時

・平成**23**年**11**月**12**日(土) **9:30**から**16:00**まで

### ◎ 開催場所

・くすまちメルサンホール 1階 健康増進室

### ◎ 講義内容

・子どもの発達、生活習慣、遊ばせ方、食事と栄養、安全対策など

◎ 受講料…無料。ただし、会場までの交通費、昼食代は個人負担となります。

### ◎ 応募資格

- ・玖珠町在住の20歳以上の健康な方
- ・子育て支援に深い関心と熱意のある方
- ・家族の協力が得られ、自宅で子どもさんの預かりができる方

### ◎ 申込期限

・平成23年10月20日(木)まで  
詳しい日程につきましては、申込後にご連絡いたします。



### ❖どっちも会員同時募集



子育て中のお父さんお母さん、子育てしながら他のお子さんと一緒に遊んでいただけませんか?「よろしく会員」「まかせて会員」どちらも可能な「どっちも会員」の登録をお待ちしております。

### お問合せ・申込先

玖珠町ファミリーサポートセンター

事務局:玖珠町社会福祉協議会

TEL/72-5513

担当:春田

受講生大募集

# 小地域ボランティア リーダー養成講座

玖珠町社会福祉協議会では、地域のリーダーとして「いきいきサロン」の実施・協力をしていただける方の養成を行ないます。ボランティア活動を通じて、地域社会の活性化を目指す、意欲ある方々の応募をお待ちしています。

## (テーマ)

認知症を理解し、地域支援活動に活かす

## (受講について)

☆ 期 日：第1回 平成23年10月17日(月) 13:30～15:30  
(下記の日程を予定しています)

☆ 場 所：くすまちメルサンホール健康増進室 他

☆ 受講資格：町内在住の方であれば、どなたでも結構です

☆ 必要物品：筆記用具、メモ帳

☆ 服 装：運動のしやすい服装でお越し下さい

☆ 経 費：無料(但しお越しになる際の交通費は自己負担)

☆ お申込み：下記、応募先にお電話でお申し込み下さい。

## 日時・内容

10月17日(月)

- ・開校式  
「認知症を学び地域で支えよう」

11月21日(月)

- ・体験紹介  
「介護者に学ぶ認知症の方との生活」

12月22日(木)

- ・認知症予防のレクリエーション  
「高齢者の心身機能を学ぼう」

1月26日(木)

- ・地域住民参加型研修会  
「先進地の取組みを知ろう」

2月23日(木)

- ・勉強会  
「居心地の良い暮らしを考える」

3月22日(木)

- ・閉校式  
「取組みを振り返り、今後に活かそう」

## (お問い合わせ・応募先)

社会福祉法人

玖珠町社会福祉協議会

(電話) 72-5513 (FAX) 72-2816

(担当) 高田/後藤

# 社会福祉協議会へ



(平成23年6月14日  
～平成23年8月19日)

## 香典返し

寺山小路4	宿利	妙子	様
倉ヶ峠	井上	孝行	様
上庄屋乙	武石	辰夫	様
田屋	永松	雅裕	様
殿町	国廣	幸男	様
錦町	小中	敏生	様
志津里	手嶋	泉	様
長野	豊田	光正	様
五月町	後藤	忠行	様
井川道	穴井儀	一郎	様
井の尻	今徳智久	江	様
下園下	渡辺	文好	様
屋形平	重光	和佳枝	様
帆足本村1	牧内	忠克	様
下組	滝石	博文	様
学区	永井	一三	様
下町	故宮崎	芳枝	様
千葉豊松市	宮田	光一	様
長野	山本裕見子	様	

大分大学文芸学部 第14回卒業

みなよい会 和田 一郎 様  
協同組合 玖珠専門店街 様  
匿名 2件

## 物品寄付

大九郎 黒田 文雄 様  
栄町 長谷部スミエ 様

ご本人の了承を得て  
掲載しています

ありがとうございました



おおいた国体マスコットキャラクター  
「めじろん」

## 第15回

# 「井の外の蛙」

## 土産

社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会  
会長 秋吉 信隆

今年の夏は省エネの取組みで、例年とは違った  
過ごし方をした家庭も多かったのではないでしょ  
うか。

中山間地の田舎に「ふる里」をもつ都会暮らしの  
家族には、山の緑が恵んでくれる爽やかな風と、  
朝夕の涼気には何か蘇るものを肌で感じたと思  
孫の成長を見せに、お盆に合わせて帰省する姿  
がテレビに映る。

お土産は先ず先祖の御霊前にお供えして、汗を  
拭きながらの挨拶。孫達は広い座敷を跳び回る。  
そんな光景が見えてくる。

そこでお土産の話になるが、先日中央公民館主  
催の高齢者大学の講義で、大分県立歴史博物館の  
菅野剛宏氏による、興味ある土産の話に出会った。  
「みやげ」とはもともと「宮筭」が語源で、後  
に土産になったという。

話は身近な信仰から始まる。近くは彦山権現や  
求菩提山・阿蘇山などがあり、遠くはお伊勢参り  
がある。

昔のことだから集落の代表が参ることになる。  
旅立ちには残った方から饗別を受けとる。参詣す  
るとお宮から護符や杯などの器(筭)をいただく。  
この護符や筭を集落や親類縁者に配る。これを  
「みやげ」や「宮筭」といい、後にその土地の特産物  
をみやげとして持ち帰るようになったという。今  
でもみやげは家族だけでいたただかず、近所に配る  
習慣もある。

さてみなさんのお宅では  
いかがでしょうか。



## 福祉職場

「就職フェア」を開催します。

玖珠・九重地域の社会福祉施設等への  
就職を希望する方と人材を求める施設と  
の橋渡しをする合同面談会を開催します。  
福祉職場に関心がある方、就職を希望す  
る方のご参加をお待ちしています。

※対象職種は、保育士・介護職員・看護  
師・栄養士・ケアマネジャーなど

・とき 九月二十五日(日)  
十二時三十分受付

・ところ 玖珠町メルサンホール

・参加対象 一般及び来年卒業予定の学生

・参加費無料

・申込締切 九月二十日(火)

・申込・問合せ先

日田市社会福祉協議会 福祉人材バンク  
☎0973-21-2470-26 担当 藤原





# 夏のボランティア 体験月間報告

多くの方のご参加  
ありがとうございました!!

毎年恒例となっている「夏のボランティア体験月間」が7月22日から8月31日まで行われました。

「ボランティア活動をしてみたい」「子どもや高齢者と触れ合いたい」「将来の為に福祉の現場を体験しておきたい」といった多くの学生が、夏休みを利用して参加し、町内の老人施設や児童施設でそれぞれ1日〜3日間の活動を行いました。

活動を終えた参加者の皆さんからは、「面白かった」「大変だったが勉強になった」「また参加したい」といった感想が聞かれました。

学生の皆さんにとってこの体験は、将来を考えるうえできつと役に立つのではないのでしょうか。

参加された皆さんお疲れ様でした。施設の皆さん受け入れありがとうございました。



編集発行所／玖珠町社会福祉協議会



昭利学園高校 高倉瑞季さん

私は、今回保育園に行かせていただきました。普段、たくさん小さな子どもと触れ合うということがないので、園児のみんなと一緒に走ったり、絵を描いたり、本を読んだり、私自身もとても楽しかったです。みんなとても元気で、たくさん話しかけてくれて、とても嬉しかったです。

ボランティアは一日だけでしたが、園児のみんなとたくさん触れ合うことができ、充実した一日になりました。

昭利学園高校 藤川千瑛さん

私は、鷹巣保育園でボランティアをさせてもらいました。私の目標は、積極的にコミュニケーションをとることでした。最初は緊張して、声をかけることもできませんでしたが、子ども達から話しかけてくれたので助かりました。また、私がゴミ箱の場所がわからず困っていると、子ども達が教えてくれ、しっかりしているなと感心させられました。子ども達の一生懸命で無邪気な姿にとても癒され、元気をもらいました。今回学んだことを、9月の実習に役立てたいです。



平成23年9月号(隔月1回15日発行) No.80

受入施設	人数	活動内容
共生の里	9	入居者とのお話し相手、散歩の手伝い、配膳、下膳、軽作業、ケアワーカーの補助、入居者のお世話、レクリエーション
玖珠園	1	
はね	3	
鷹巣保育園	10	
杉ノ子保育園	3	保育士の仕事をサポートしながら、保育全般の体験
くるみ保育園	1	
くすのき保育園	2	
合計	29	
参加分布		
・小学生	2名	(男1名、女1名)
・中学生	8名	(男1名、女7名)
・高校生	18名	(男0名、女18名)
・専、短、大学	1名	(男0名、女1名)



印刷／す印刷センター  
大分県玖珠町大字紙足225-3  
TEL 72-0457 FAX 72-8822